

## 2021年度 第6回運営推進会議

2022年3月14日(月)  
地域密着型介護老人福祉施設  
越谷なごみの郷  
3F多目的室

### 運営推進会議の趣旨

#### I. 運営推進会議の目的

1. 事業所運営の透明性の確保
2. サービスの質の確保
3. 事業所による「困り込み」の防止
4. 地域との連携の確保

#### II. 地域密着型サービスの役割

- ① 本人本位の支援
- ② 継続的な支援
- ③ 地域で暮らし続けることの支援
- ④ 地域との支えあい等を理念とする地域密着型サービスは、入居者・利用者のより良い暮らしを着眼点に本人と地域との関係を断ち切らない支援

上記の役割を担うため、事業所と地域との良好な関係を築き、事業所が提供するサービスが、住民ニーズに即した価値のある地域資源として機能していく必要がある。利用者がどのような暮らしを望み、これからサービスを利用するかもしれない住民が何を期待しているのかを知らなければならない。

運営推進会議は、事業所と地域との関係をつなぐ一つ的手段であり、地域密着型サービスを「事業所と地域住民とが一緒に育てていくことを目的に行っていく。

## 1. 介護老人福祉施設

### 【運営状況報告】

#### ● 介護老人福祉施設 1月17日～3月13日までの入居・退居状況

入居者	退居者	在籍者
0名	0名	29名

#### ● 平均年齢と平均介護度

平均年齢	平均介護度
86歳	3.97

#### ● 人員体制 人員配置基準(2.5 : 1)

入退職者・異動職員	地域密着型施設の職員数	現在夜勤可能職員数 夜勤専従
入職者=0名 退職・異動者=0名	21名(前回比-1名) 常勤換算数:16.7人 配置基準3:1割合(2.27:1)	夜勤可能職員数11名(5回) 夜勤専従1名(10回～11回) 夜勤配置2人配置

#### ● 教育・研修等

※ その他、今年度も法令に沿った研修を実施予定

#### ● 活動状況・予定

活動状況	・新型コロナウイルス感染対策の為、活動は実施できず、命を守るケアについて、改善活動計画書を活用し、計画の立案、実施、効果測定を行っている。
ユニット会議 リーダー会議	・ユニットフロア会議：新型コロナウイルス感染対策を行いつつ実施 ・ユニットリーダー会議：新型コロナウイルス感染対策を行いつつ実施
研修	・研修 新型コロナウイルス感染対策を行いつつ実施

●事故その他・・・

①1月21日（金）15時20分頃

発生状況：主におやつを提供した際に、右手薬小指があざに覆われているのを発見する。触れると若干の熱感と腫れあり。曲げ伸ばしが可能で強い痛みの訴えがないため、家族と相談し様子観察を開始する。翌日も症状が改善されないため、病院受診し、骨折されているとの診断を受ける。

再発防止策：主のショートステイ利用が2回目、前回利用から半年以上の期間されていなかった。認知症状により、常にフロア内を歩き回っているため、ドアに挟んでしまったか転倒されたか原因は不明である。利用される際は、歩行状況を含めたアセスメント強化し、情報共有を徹底する。最低30分に1回は、所在確認を実施する。

### 3. 認知症対応型デイサービス

#### ● 10月～3月 までの状況

新規利用者	契約終了者	在籍者
3名	2名	11名（男性5名・女性11名）

※12月、2月、3月に1名ずつ新規ご利用者のご紹介をいただいた。

契約終了されたご利用者は2名となった。感染症対策の継続は必要であるが、室内の機能訓練を中心に取り組んでいる。新規のご利用者獲得ができるように外部の居宅介護支援事業所などに空き状況を報告し活動していく。

#### ●平均年齢と平均介護度

平均年齢	平均介護度
83.1歳	3.3

#### ●認知症高齢者日常生活自立度

自立度	I	II a	II b	III a	III b	IV	M
人数	0	1	1	1	3	2	3

I	「何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内および社会的にほぼ自立している状態」 基本的には在宅で自立した生活が可能なレベルです。
II a	「日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが家庭外で多少見られても、誰かが注意していれば自立できる状態」
II b	「日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが家庭内で見られるようになるが、誰かが注意していれば自立できる状態」
III a	「日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが主に日中を中心に見られ、介護を必要とする状態」
III b	判断基準「日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが夜間にも見られるようになり、介護を必要とする状態」
IV	「日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする状態」
M	「著しい精神症状や周辺症状あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする状態」

#### ●職員体制

入職者・異動職員	退職者・異動職員	職員数
入職者＝0名 異動者＝0名	0名	6名 (管理者、兼務職員、運転職員含む)

●事故・苦情の発生状況

種別	件数	事象	内 容
事故	1件	車両	送迎時、交差点を直進しようとしたところ左側からきたバイクとぶつかってしまふ。相手側は打撲との診断 こちらは外傷等なし 利用者は乗車していなかった。

2021年度の目標

前年度発生 of 事故の多かつた事例に対応できるように目標を設定予定

●教育・研修等

活動状況	施設館内を活用し歩行訓練を行うなど室内での機能訓練を行っている ご利用者に可能な限りマスク着用をお声かけしている
会議等	コロナ対策を行いつつ、正規職員・相談員間で行う
研修	各自動画や資料を見ての研修を行った

※ その他、今年度も法令に沿った研修を実施予定

●ご家族からの声など

	内 容

## 地域密着型サービス運営推進会議の記録

会議名称 : 2021年度 第6回運営推進会議  
事業所名 : 地域密着型介護老人福祉施設 越谷なごみの郷  
サービス種類 : 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護  
知症対応型通所介護  
会議開催日時 : 2022年3月14日(月) 10時00分 ~ 10時10分  
会議開催場所 : 地域密着型介護老人福祉施設 越谷なごみの郷 多目的室

### 《運営推進会議出席者》

入居者	0名
地域住民の代表	0名
知見を有する者	0名
地域包括支援センター職員	0名
事業者	6名

### 《議題》

- 運営推進会議構成員の紹介
- 2022年1月17日～2022年3月13日までの活動状況の報告

### 《活動状況の報告》

- 介護老人福祉施設における2022年1月17日～2022年3月13日 までの、利用状況活動内容等の報告(大澤)
- 認知症対応型デイサービスにおける2022年1月17日～2022年3月13日 利用状況・活動内容等の報告(管理者名原)

※別紙(第5回運営推進会議)参照  
事故の詳細報告

### 《要望、助言、意見等》

大澤にて、運営推進会議の趣旨の説明  
大澤にて、第5回運営会議推進会議録資料に沿って、報告

参加者、説明に対し理解し了承する。

### 《資料等》

- 運営報告
- 2022年1月17日～2022年3月13日までの活動報告

### 《次回の会議》

- 次回議題
  - ・ 2022年3月14日～2022年5月8日までの活動、状況報告
  - ・ 運営等についての意見交換
  - ・ 地域密着型の主旨に基づいたサービス提供ができているかを基本に、地域活動を含め協議していく。
- 次回開催月日 2022年5月8日(月)
- 次回開催場所 地域密着型介護老人福祉施設 越谷なごみの郷 3F 研修室